

ワークショップ 2.5～3.5

世界と日本の〈演技論〉について語ろう！

## シアター・コミュニケーション・ラボ大阪 オープン講座

[トップ](#) >> [アーカイブ](#) >> [世界と日本の〈演技論〉について語ろう！シアター・コミュニケーション・ラボ大阪 オープン講座](#)

このページの情報は、終了した事業に関するものです。



シアター・コミュニケーション・ラボ大阪(TCL大阪)は、2013年10月に新しく開校した演劇スクールです。

世界中の現代劇の基礎となっている演技の文法【スタニスラフスキー・システム】をベースに、身体表現を豊かにするための様々なレッスンをを行っています。

今回のオープン講座はTCL大阪の集中講義を公開するもので、テーマは古今東西の【演技論】です。

演技論が美術や音楽の手法と大きな違いがあるのは、素材が粘土や絵具、バイオリンやフルートではなく「人間の心と体」であること。有機的(無機物の石や鉄ではない心と体)である、人間の自然を超えることはできないという「制約」をもった芸術の技術だということです。

その本質に迫るのが今回のオープン講座の目的で、レクチャーのあと聞き手を交えて、【講師に質問する形式】で進めます。ぜひとも、俳優を目指す人たちと一緒に演劇の面白さを味わってください！

2015年2月5日(木)～2015年3月5日(木)  
毎週木曜日 18:30～20:30開講/全5回  
定員 各回20名  
受講料 10,000円(全5回分・税込) ※事前申込制 単発受講もOK  
会場 大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco]



会場 | お問い合わせ  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco]  
シアター・コミュニケーションラボ大阪事務局(オープン講座) 係  
〒550-0006 大阪府東区立江之子島2-1-14 ※近隣日本橋  
電話:06-6441-8050 fax:06-6441-8151  
メールアドレス:tsukaika@enokojima-art.jp ホームページ: http://www.enokojima-art.jp/tcl\_osaka/  
アクセス:大阪府地下鉄中央線・千日前線「阿波田」駅下車徒歩約10分(西へ約150m)

### 開催概要

日時：2015年2月5日(木)～2015年3月5日(木)

毎週木曜日 18:30～20:30開講/全5回

定員：各回20名

受講料：10,000円(全5回分・税込) ※事前申込制、単発受講もOK(1回2,500円)

会場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco]

### 講座概要

第1回 [歌舞伎と新歌舞伎] 歌舞伎の“近代化”から生まれた「新歌舞伎」とは？

日時：2月5日(木) 18:30～20:30

講師：河内 厚郎

文明開化の明治時代。西洋演劇の影響を受けた「歌舞伎」が、義太夫節や長唄の音楽よりも台詞を主体にして誕生させた「新歌舞伎」について語ります。

## 第2回 [新派と新国劇] 歌舞伎を超えようとした「新派」と「新国劇」の違いとは？

日時：2月12日(木) 18:30～20:30

講師：菊川 徳之助

明治に生まれた、歌舞伎を旧派とする“新派歌舞伎劇”の「新派」と、大正に生まれた“新旧両派の歌舞伎を超える新しい日本の劇”を目指した「新国劇」に迫ります。

## 第3回 [メイエルホリド] 前衛演劇の旗手「メイエルホリド」が俳優に求めたことは？

日時：2月19日(木) 18:30～20:30

講師：楯岡 求美

東西古典劇の影響を受け、新しい俳優訓練法の考案、様式化の追求、原作解体の挑発的な演出で、演劇に革命をもたらしたロシア・アヴァンギャルドの「メイエルホリド」について語ります。

## 第4回 [ブレヒト] “政治の演劇化”に対抗する「ブレヒト」が生み出したものとは？

日時：2月26日(木) 18:30～20:30

講師：市川 明

ナチス・ドイツの陶酔に背を向け迫害を受けながらも、“異化効果”“叙事詩的演劇”でモダニズム演劇を作り上げた、「ブレヒト」の俳優術や観劇術の革新性について語ります。

## 第5回 [スタニスラフスキー] “演技の文法”を探し求めた「スタニスラフスキー」が見たものとは？

日時：3月5日(木) 18:30～20:30

講師：堀江 新二

最終回は、どの演技論にとってもベースとなる、モスクワ芸術座の創立者「スタニスラフスキー」の演技論です。“有機的な人間の自然”をキーワードにその秘密に迫ります。

## 講師プロフィール

### 堀江 新二



TCL大阪 所長、大阪大学名誉教授

ロシア演劇研究の第一人者。

スタニスラフスキー・システムの全貌を明らかにした『俳優の仕事』(全3巻)をロシア語からの全訳を出版。日本翻訳出版文化賞を受賞(2010年)。

著書に『したたかなロシア演劇』、訳書にチェーホフ『かもめ』『さくらんぼ畑』(桜の園)ほか多数。モスクワ・国立シューキン演劇大学俳優科に特別学生として入学(2006～2010年)。

### 河内 厚郎



演劇評論家、神戸夙川学院大学教授

神戸夙川学院大学教授、「関西・歌舞伎を愛する会」代表世話人、兵庫県立芸術文化センター・特別参与。

受賞「咲くやこの花賞」(大阪市)、「読売賞」(読売新聞大阪本社)、「文化功労賞」(兵庫県)など。著書『わたしの風姿花伝』、桂米朝氏・藤本義一氏らとの対談集『関西弁探検』、有栖川有栖氏との対談集『大阪探偵団』など多数。

### 菊川 徳之助



演出家、元近畿大学舞台芸術専攻教授

元近畿大学舞台芸術専攻教授、関西朗読コンテスト審査委員長、日本演劇学会理事、日本演出者協会理事。著書『実践的演劇の世界』(昭和堂)、主な演出『セチュアンの善人』(ブレヒト・作)、『夢・桃中軒牛右衛門の』(宮本研・作)ほか多数。

楯岡 求美



神戸大学准教授

演劇を含む20世紀のロシア・ソ連文化研究。特にメイエルホリドの演劇論。

近代以降の人間と社会との諸問題を拡大してみせる装置として、芸術表現を手掛かりに「ソ連」という特異な社会形態について考察を行っている。

市川 明



大阪大学名誉教授

専門はドイツ文学・演劇。ブレヒトやハイナー・ミュラーを中心にドイツ現代演劇を主に研究。多くのドイツ演劇を翻訳し、関西で上演し続けている。

演劇創造集団ブレヒト・ケラー代表。NHKのドイツ語講座でもおなじみ。

※聞き手(全回):八木 延佳(T C L大阪 教務主任、関西学院大学非常勤講師)

### お申し込み方法

「T C L大阪オープン講座申込」と明記の上、お名前(フリカナ)・ご住所・単発受講の場合は参加を希望する講座名・日中連絡のつくお電話番号を記入のいただき、シアター・コミュニケーション・ラボ大阪事務局まで、メールにてお申し込みください。

定員に達し次第、申込受付を終了いたします。

※参加費は初回参加の時に全額をお支払いいただきます。参加費はお支払い後、返却致しません。

メール：[tclosaka@enokojima-art.jp](mailto:tclosaka@enokojima-art.jp)

※いただいた個人情報は本お申し込み以外の目的には使用しません。

主催：シアター・コミュニケーション・ラボ

共催：大阪府立江之子島文化芸術創造センター

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	ツイート	^
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			